

基本施策1：家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

推進項目1 子ども子育て支援・家庭教育支援の充実

■現状や課題

- 少子高齢化・核家族化が進み、共働き世帯が増加するなど、社会情勢の変化もあり、家庭及び地域での教育力の低下が指摘されており、子育てに係る意識が希薄化しています。
- 教育委員会と小中学校、PTA、保育所、幼稚園、子育て支援センターが連携を図り、親子での体験活動等の学習機会を提供するなど、家庭の教育力の向上に向けた支援が必要です。



具体的施策

- 1 家庭教育講演会、読み聞かせ研修会の開催、家庭教育ハンドブック(幼保小中学校生)の作成・配布をします。
- 2 休日の子どもの居場所づくり(就学前の乳幼児対象)をします。
- 3 親子体験活動の充実、子育てに関する市民講座、おはなし会を実施します。
- 4 家庭教育講演会を開催します。
- 5 市民講座(家庭教育・親子を対象とした講座)を開催します。
- 6 ネットトラブル情報提供(望ましい電子メディアとの関わり方)を行います。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・学習状況家庭教育セミナー(中学校区)	3回	3回
・家庭教育講演会	1回	1回
・児童館の休日開催	0館	1館

基本施策1：家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

推進項目2 青少年教育の推進

■現状や課題

- 青少年期は、家庭から学校そして社会へと活動の場が広がることから、様々な人々との交流や体験を通じ多くの事を学びながら成長し、自主的・主体的な活動の充実を図り、青少年の健全育成を推進する必要があります。しかし、少子高齢化・核家族化が進み、共働き世帯が増加し、地域との繋がりが希薄化しています。
- 地域資源を活かし、生きる力を身に付ける学習機会の提供や、そうした活動を支えるボランティアの育成、関係機関との連携が必要です。また、放課後の子ども達の安心で安全な遊びの場と学びの場を確保し、様々な体験を通じて社会性、協調性、ふるさとを愛する心を育む必要があります。

具体的施策

- 1 子ども未来づくりフォーラム(小学生)の開催をします。
- 2 少年の主張大会(中学生)の開催をします。
- 3 ふらのまちづくり未来ラボの推進を図ります。
- 4 富良野市子ども会育成連携協議会活動の支援をします。
- 5 児童館・学童保育センター、放課後子ども教室の運営の改善を図ります。
- 6 富良野地区広域教育圏振興協議会との連携を図ります。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・子ども未来づくりフォーラム参加校	8校	全校
・少年の主張大会参加校	6校	全校
・ふらのまちづくり未来ラボ参加者数	3.0% (634人)	3.0% (1)
・児童館、学童保育センターの利用者数	45,226人	39,000人
・学童保育センター開所時間の延長	0館	5館

1) R7年までの児童数の推移(18%減)から推計

基本施策2：人々の暮らしの向上と人生100年を見据えた生涯学習の推進

推進項目1 成人・高齢者教育

■現状や課題

- 成人教育については、多様化する学習ニーズに応え、趣味に偏らない現代的課題や地域・行政課題について学習機会の提供を継続していく必要があります。
高齢者教育については、「ことぶき大学」を中心に活動しており、小中学生、高校生、看護学生との交流を行うほか、沿線3市町との交流も実施しています。
- 成人学習ニーズの的確な把握と関係機関と連携した学習プログラムの充実、男女協働参画の推進、サークル団体の会員増や活性化のための情報提供が必要です。
「ことぶき大学」は新入生が減少傾向にあるので、引き続き学生の確保に努める必要があることから、楽しく魅力ある大学作りに努める必要があります。

具体的施策

- 1 ふらの市民講座、講演会、講座の開設、学習プログラムの提供をします。
- 2 社会教育関係団体の育成支援をします。
- 3 「楽しく魅力ある」ことぶき大学の運営をします。
- 4 勤労者教養講座、生きがい教室の開催をします。
- 5 高齢者ニーズに合った学習情報や資料の整備と提供をします。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・富良野市民講座の参加者数	4.1% (873名)	4.1% (2)
・ことぶき大学学習日数	30日	30日

2) R1年度末人口と令和7年度推計人口から推計

基本施策2：人々の暮らしの向上と人生100年を見据えた生涯学習の推進

推進項目2 読書活動の推進

■現状や課題

- 市民及び社会のニーズ、地域の実情等に配慮した図書館資料の収集及び提供、安全で快適な施設の運営とサービスの充実に取り組んでいます。
また、子どもたちの基礎的な学習能力を高め、豊かな心を育むため、家庭、地域、学校、行政が連携した読書環境の整備を推進しています。
- 地域のための図書館であるためには図書館利用団体、読書推進ボランティアの育成と維持発展が必要であり、あわせて施設の老朽化に伴う適切な施設の維持管理と運営が必要です。
市民にとって必要な図書館であるために、利用者サービスの向上と総体的な図書館利活用の検討が必要です。

具体的施策

- 1 図書館利用者団体及び読書推進ボランティアの活動について、積極的に住民への情報提供を図ります。
- 2 安全で快適な環境整備を推進します。
- 3 施設利用者等への図書サービスの継続を図ります。
- 4 図書館業務の省力化を推進するとともに、試行中の開館及び時間延長を検証し、多様なサービスの在り方を検討します。
- 5 子どもの読書推進プラン(第3次計画)の推進を図ります。
- 6 社会の変化や利用者ニーズに対応した一層効果的な図書資料及び多様な図書情報の提供を図ります。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・市民一人当たり図書貸出冊数	5.8	7.0

基本施策3：文化伝承活動と社会教育施設整備の推進

推進項目1 文化伝統の保護継承

■現状や課題

- 市指定有形文化財の保全活動のほか、未指定・未登録の文化財の調査を行い、見学会や講演会などの教育普及活動を実践していますが、歴史的建造物の文化財登録や指定例が無い場合、文化財の活用したまちづくりに結び付いていません。
- 無形民俗文化財は、各保存団体の活動を支援し、地域の祭りや市の行事等を活躍の場として継承・保存に努めていますが、保存団体の活動継続のためには、会員数の維持・増加が望まれます。



具体的施策

- 1 市内に現存する文化財をリストアップし、その登録・指定や活用方法等について調査・検討を進めます。
- 2 安全で快適な環境整備を推進します。
- 3 無形民俗文化財保存団体の会員数が維持・増加するよう、各団体との連携を深め、活動費支援の継続と、活動状況の情報発信等により新たな人材獲得の機会増加に努めます。
- 4 活動・交流の場でもある郷土芸能伝習館の環境維持のため、計画的且つ効果的な整備を実施します。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・指定・登録文化財の件数	4	6
・無形民俗文化財保存団体会員数	78	78

基本施策3：文化伝承活動と社会教育施設整備の推進

推進項目2 博物館活動の推進

■現状や課題

- 本市の自然、歴史、文化についての調査研究、資料等の収集保存に努め、それらを学び理解する機会を幅広く提供することで、郷土に対する意識高揚を図っていますが、次の点が課題となっています。
- ・郷土の自然や歴史・文化財への理解促進と関心の拡大
- ・博物館の利用促進
- ・生活や人生を豊かにし得る文化や美術に対する関心の向上
- ・博物館活動を応援する指導・協力体制の充実

具体的施策

- 1 自然史や郷土史の研究団体等との連携協力を深め、観察会や見学会、森林学習プログラムの実施など、より効果的な学習機会の提供に努めます。
- 2 郷土の自然や文化財を地域資源として調査研究し、展示や学習資料の作成等とおして成果の教育普及に努めます。
- 3 博物館年報の発行をはじめ、調査研究活動によって得られた貴重な資料の蓄積や知見の公開を推進します。
- 4 地域人材の発掘と獲得に努め、より多くの市民が文化的活動や郷土の歴史等に接する機会を得られるよう事業展開を図ります。
- 5 インバウンドに対応した英語版展示解説システムの提供をします。

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
・文化的活動や郷土の歴史等に接する機会への参加者数	340	380

基本施策3：文化伝承活動と社会教育施設整備の推進

推進項目3 社会教育施設機能の充実

■現状や課題

- 生涯にわたり学習できる社会教育活動施設の環境づくりは、健康で生きがいある充実した人生を送り、活力ある地域づくりのために、多様な学習機会の提供を図っています。
- 学習拠点である公民館、図書館、生涯学習センターの機能充実に向けて、各施設が展開する特色あるプログラムの更なる充実や職員の専門性や各施設における ICT 化を進め、遠隔地にある施設においても迅速に有効な情報が得られ、また発信できる機能の充実が求められています。

そのため、公民館、生涯学習センター、図書館等の社会教育施設の機能・施設充実は効果的な活用が図られるよう第6次富良野市総合計画や富良野市 ICT 利活用推進計画と連携しながら、計画的に推進する必要があります。



具体的施策(対象施設)

- 1 生涯学習センター(博物館・山部公民館)
- 2 東山公民館
- 3 市立富良野図書館
- 4 郷土芸能伝習館

項目	基準値(R1)	目標値(R7)
—	—	—